

第2次読谷村地域福祉計画

子どもからお年寄りまで、皆で支え合い、共に生きるむらづくり
一人ひとりが、何か一つ“自分のできることをできる時にできる範囲で”



平成 28 年 8 月

読谷村

作品名：無題

作 者：マン・デビット・アラン

マン・デビット・アラン（32歳）読谷村在 元気サポートウェルよみたん（さばにくらぶ）
自閉症のマン・デビット・アランさんは、美咲養護学校中等部在学時から描き始めた400点あまりの作品があり、2010年には第1回作品展「見られて、見る」を読谷村文化センターで開催しました。作品には、一瞬を切り取る洞察力と、ほっと力の抜けるようなユーモアがあふれているのが特徴です。水彩画の他にも、焼き物、粘土細工などがあります。

目 次

序 地域福祉計画について.....	1
1 計画の枠組み.....	1
(1) 計画策定の背景・目的.....	1
(2) 計画の位置付け.....	4
(3) 計画期間.....	4
2 地域福祉を取り巻く課題.....	5
(1) 第1次計画の取り組み状況・課題.....	5
(2) 読谷村における地域福祉の重点課題.....	9
I 基本的な考え方.....	11
1 計画の理念.....	11
2 基本目標.....	12
3 施策の体系.....	13
4 福祉圏域の設定.....	14
5 計画の推進.....	17
II 地域福祉計画.....	21
1 行動する村民・地域づくり.....	21
(1) 福祉意識の高揚.....	21
(2) 互いに支え合う地域づくり.....	25
2 利用しやすい福祉基盤づくり.....	29
(1) 相談支援、情報提供等の充実.....	29
(2) 住み良いむらづくりの推進.....	34
(3) 権利擁護等の充実.....	36
3 取り組みを広げる仕掛けづくり.....	39
(1) 専門機関・団体等との連携強化.....	39
(2) 計画の推進・進行管理の仕組みづくり.....	42

資料編	45
1 読谷村の人口等の関連データ	45
2 村民の意識について（地域福祉に関するアンケート調査より）	47
3 関係機関への意向調査	59
4 第2次読谷村地域福祉計画策定の経緯	71
5 第2次読谷村地域福祉計画策定の体制	72
6 用語集	73

序 地域福祉計画について

I 基本的な考え方

Ⅱ 地域福祉計画

資料編